

駒大経営研究

第1巻 第3号

論 説

- 原価管理手段としての原価会計組織概観
……………片岡 義雄 (1)
- 村落構造の問題点
……………内藤 二郎 (21)
- 監査職能に関する一考察
……………渡辺 恵一郎 (35)
- 組織の成長
……………平山 健二 (53)
- 経営経済学における人間の問題
—その考察方法を中心として—
……………北村 健之助 (67)

研究ノート

- 物価変動会計の展開
……………石岡 貞城 (91)

新刊紹介

- 敷田禮二著
『管理会計批判—戦後日米資本主義史と蓄積手段』
……………近藤 穎夫 (107)

KOMADAI KEIEI KENKYU

THE BULLETIN OF THE INSTITUTE OF MANAGEMENT
KOMAZAWA UNIVERSITY

CONTENTS

Articles

- Cost Accounting System as a Tool of Management Y. Kataoka (1)
- The Problems as to the Structure of Villages
in Modern Japan
—With Reference to the Book Review by Mr. Sasaki— J. Naito (21)
- A Consideration of the Auditing Function K. Watanabe (35)
- Organizational Growth K. Hirayama (53)
- Das Menschenproblem in der
Betriebswirtschaftslehre K. Kitamura (67)

Notes

- Development of Accounting for Specific and
General Price Changes S. Ishioka (91)

Book Review

- Reiji Shikita, *A Criticism on Management
Accounting*, 1969 S. Kondo (107)
-

PUBLISHED BY
THE KOMAZAWA DAIGAKU KEIEI KENKYUSHO
KOMAZAWA SETAGAYA TOKYO

経営研究所報告

第3回経営研究会の開催

経営研究所では、去る10月31日下記のとおり、多数の所員参加のもとに、第3回経営研究会を開催し、活発な質疑討論がおこなわれた。

1. 報告者 経営学部教授 掛谷力太郎 氏
2. テーマ 労務管理の諸問題

—現下のわが国労務管理に関する若干の問題提起—

3. 場所 大学会館

(報告要旨)

1. 労務管理基本理念の変動傾向をどのように把握するかの問題

まず、経営家族主義や終身雇用・家父長的経営労務・年功序列型労働条件などに代表される経営家族主義的労務管理から、民主化・自由平等思想・労働運動の解放・労働組合助長・身分制の撤廃などの労務管理近代化へという方向についてその主体性の移り变りの速度が問題であること、つぎに経営の民主化と企業内の労使関係・労務管理、科学的合理主義ならびに新しい人間関係管理という3つの柱からなる労務管理近代化の意義を明瞭にし、さらに経営家族主義と経営労務近代化との交流調整こそが問題である。

2. 労務管理体系と関連科学ならびに隣接科学の系譜に関する諸問題

労務管理の隣接科学としてはドイツ経営経済学・アメリカ経営学・経営社会政策・批判経営学・労働科学・産業社会学・組織科学・行動科学などがあり、さらに関連科学としてはたとえば労働経済学・社会政策・人間工学・人類学などがあると考えられるが、これらを体系化することが必要である。

3. 企業格差と労使関係・労務管理問題

わが国の問題としては、たとえば労使関係と労務管理の相関関係、経営二重構造、産業別労組結成への阻害要因、中小企業労務管理の諸問題、業績格差と人件費、企業合併と労使関係・労務管理上の諸問題がある。
(猪狩)

駒大経営研究

第1巻 第3号

昭和45年1月20日 印刷

昭和45年1月26日 発行

¥ 250 (送料70.)

編集・発行人 (154) 東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒沢大学経営研究所

代表 佐々木吉郎

印 刷 (101) 東京都千代田区神田神保町1-42

株式会社 白桃書房出版事業部